大阪府市下水道ビジョンの推進について

令和３年12月24日に策定した大阪府市下水道ビジョンに掲げた取組を着実に推進するため、令和４年２月４日に大阪府市下水道ビジョン推進会議を設置しました。

　現在、大阪府、大阪市及び府内市町村が連携し、テーマ別のワーキンググループにて具体的な検討を行っています。

大阪府市下水道ビジョン推進会議には、次のワーキンググループがあります。

官民連携、府内市町村下水道事業の持続性確保、ストックマネジメント、技術力向上、下水道ＰＲ、治水対策、地震対策、部品共有化、技術開発・国際貢献、処理場空間の多様な活用

令和５年度の主な活動内容

官民連携ワーキンググループについては、ウォーターPPPを含めて課題整理に向けた情報共有を実施しました。

府内市町村下水道事業の持続性確保ワーキンググループについては、府内市町村への課題ヒアリングを実施、広域化共同化ブロック合同会議において、府内市町村に先進事例を情報共有しました。

ストックマネジメントワーキンググループについては、大阪市の処理場再構築における状況、取組事例について情報を共有し、府市処理場間ネットワーク化の有効性を検討しました。

技術力向上ワーキンググループについては、市町村下水道職員向けの講習会を開催し、大阪市職員向け研修を府内市町村職員へ拡大しました。

下水道PRワーキンググループについては、大阪下水道広報ぷらっとホームで情報を発信し、大阪マンホールエキスポ親子で楽しむ下水道を開催しました。

治水対策ワーキンググループについては、効率的な内水排除に向けた検討、河川管理者との意見交換を実施し、雨水出水浸水想定区域図の作成等に関する府内市町村向けの研修会を開催しました。

地震対策ワーキンググループについては、災害時の下水汚泥の相互融通に向けたマニュアルを拡充し、広域緊急交通道路における府内市町村の管渠地震対策状況の情報を収集しました。

部品共有化ワーキンググループについては、府市及び府内８市町で緊急時に設備部品を相互融通する体制に拡充しました。

技術開発・国際貢献ワーキンググループについては、カーボンニュートラル・新技術の学習会を開催し、産学が持つ新技術を収集しました。また、JICA研修での講師・現場対応、海外視察者からの水環境課題の聴き取りをしました。

処理場空間の多様な活用ワーキンググループについては、まちづくり関連事例の情報共有、現場見学会を開催しました。